



志賀高原  
ユネスコ  
エコパーク

# 信州 たかやま議会

## 137号

2022年1月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



### 【12月定例会】

補正予算、条例改正 ..... 2 - 3  
一般質問(11名) ..... 4 - 10

### 【委員会】

議会活性化委員会 ..... 10  
中川村来訪 ..... 11

### 【新議会】

人事・委員会の役割 ..... 12 - 13

### 【9月定例会】

一般質問(4名) ..... 14 - 15

### 【わたしの声】

倉田裕子さん ..... 16

### 高山村の年始風景

1月8日・9日、各地区でどんど焼きが行われました。

晴れわたった空のもと、子ども達の声が響き準備をする姿を見て、令和4年は穏やかで、活気のある高山村を願っています。

# 12月定例会

一般会計補正予算減額 314万7000円

総額 45億9595万6千円

## 10月臨時会

改選に伴う令和3年10月臨時会は、10月1日に開催され、議長の選挙等、議会構成及び監査委員、教育委員の同意3件、一般会計補正予算の議案1件を原案どおり可決しました。（議会構成は、13ページに掲載）

### 同意3件（全員賛成）

○監査委員に中村義忠氏を引き続き選任することに同意しました。

○教育委員会委員に黒岩千秋さんを任命することに同意しました。

○議会の議員のうちから選任する監査委員に黒岩清道氏を選任することに同意しました。

## 12月定例会

令和3年12月定例会は、12月2日から10日までの9日間の日程で開催されました。

村から提出された案件は承認1件、同意1件、一般会計及び特別会計補正予算を含む議案10件を原案どおり可決しました。

一般質問は11名が登壇し村政の課題など24項目について質問しました。

### 承認一件（全員賛成）

YOU遊ランド源泉ポンプ交換及び揚湯管布設替えに係る経費を追加するための専決処分の承認  
〈YOU遊ランド源泉ポンプの故障に伴う復旧作業の経費〉

### 補正予算（全員賛成）

#### 主なもの

◇一般会計補正予算（第4号）…………… 314万7千円減額

◇国民健康保険特別会計補正予算（第2号）…………… 2804万1千円を追加

◇診療所特別会計補正予算（第3号）…………… 549万円を追加

◇温泉開発事業特別会計補正予算（第3号）…………… 1571万9千円を追加

◇下水道事業特別会計補正予算（第1号）…………… 294万7千円を追加

# 18歳以下の子供への10万円給付

12月補正では、現金5万円分のみ計上、  
残5万円と所得制限は、専決予算(1月臨時会)

## 高山村は所得制限を撤廃 《同意案件》

### 条例の改正(全員賛成)

◇課及び室設置条例の全部を改正する条例

全員賛成

◇高山村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全員賛成

◇高山村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

全員賛成

◇村税条例の一部を改正する条例

全員賛成

◇国民健康保険条例の一部を改正する条例

全員賛成



# 令和3年 第5回高山村議会 12月定例会一般質問

	質問議員	質問事項
1番	湯本 辰雄	1 子供医療費のレセプト代について 2 通学路の交通対策について 3 山田牧場のにぎわいの場構想について
2番	高井 央葉	1 入区金について 2 空き家対策について 3 千曲大橋について
3番	勝山 正弘	1 主要地方道須坂中野線の開通計画について 2 子育てに関わる経済的支援について
4番	梨本 進	1 コロナ禍の村民生活の影響と今後の平常回復活性化策について 2 八木沢川護岸整備等の治山、治水対策について 3 災害発生時の避難所の環境改善について
5番	柴田 弘男	1 屋内ゲートボール場設備の修繕について
6番	山崎 秀治	1 子育て支援の充実について 2 特別障害者手当について 3 原油高騰対策について 4 消費税「インボイス」について
7番	久保田 雄吉	1 4月の大霜害による本村の農作物の被害状況・対策について 2 農産物直売所について
8番	松本 茂	1 地域おこし協力隊について
9番	沖島 祥介	1 にぎわいの場創設事業のひとつにあげてある中山地区について 2 ふるさと納税について
10番	滝澤 聖	1 特定空き家対策の進捗状況について
11番	黒岩 清道	1 防災の備蓄品と避難所運営について 2 高山村の観光誘致について

湯本 辰雄 議員



子供医療費の完全無料化を

答 現行通り持続可能な制度としていきたい

問 現在村では高校生までの子ども医療費は無料だが、1レセプト5000円の請求手数料がある。県内には無料化や3000円の自治体がある。1レセプト5000円の廃止を求めます。

副村長 県内では請求手数料が無料化の自治体は11。その他は受益者負担がある。今後も受給者の皆さんにご理解いただき、現行通り持続可能な制度としていきたい。

安全な通学路に

答 計画的に取り組む

問 11月19日付の信毎で、県教委が通学路の緊急点検した記事があった。県全体では2249か所、本村25。村の危険個所の内訳と、今後の改修計画は。

教育次長

毎年小中PTAから危険個所を聞いて、検証している。村内の危険個所25のうち、歩道、路面標示の設置が15か所



コメリ高山店上の交差点。変則5差路で見通しが悪いので、早期の改善を求めます。

牧場のにぎわいの場構想

答 希少植物の保存をはかりながら活性化を進める

問 ①筑波大学の植栽調査報告が8月と聞いていたが、報告があったのか。関係者への説明はしたか。②今後の建設計画と希少植物の保存は。

村長

植生調査では、シダ類2属、裸子植物5種、被子植物124種を確認。ウスバサイシン等は希少性がある。コロナ禍のため公表方法は今後検討します。今後関係者と協議し、希少植物の保存をはかりながら、牧場の活性化を進めていきたい。

入区金について

答 自治区の皆様とともに研究して参りたい

問 地区の重要な財源である「入区金」だが、移住者にとっては大きな問題となっている。今後移住を促進していくにあたってどのように対応されるか。

総務課長

ある自治区では地域のコミュニティ存続に危機感を持たれ、金額の軽減や免除の検討を始められているところもあると聞いている。行政からいろいろと申し上げる立場にないが、重要な財源であることを尊重しつつ、同様の取り組みが他の自治区でも検討してもらえるか区長会を通じて、実情を聞くとともに移住したい環境の整備について、研究して参りたい。

高井 央葉 議員



(仮称)千曲大橋について

答 啓発強化に努めて参りたい

問 村の産業の発展、移住促進にも繋がる橋の建設実現に向けた村の対応は。

村長

この新たな橋梁が整備されることにより、利便性の向上、救急医療、観光交流の活性化、危機管理の対応が図られるなど、様々な効果が期待できる。引き続き関係市町村との連携強化を図りながら実現等に向け、啓発強化に努めて参りたい。

空き家対策について

答 調査・研究して参りたい

問 地域起こし協力隊員が空き家の片付けや有効活用など



勝山 正弘 議員

県道須坂中野線の開通計画について

**答** 緊急性を勘案し、当面、事業着手は困難

**問** これは、国道に準ずる非常に重要な路線である。昭和41年以降、高山村・中野市の長が同盟を結び、県に要望書を提出してきているが未開通のままである。間山峠のトンネル構想等、費用および目標期限はできているか？また、開通および道路拡張が実現した場合の様々な経済効果等のシミュレーションはできているか。

**建設水道課長**

県では、トンネル工事費用が大きく事業着手が困難な回答とのこと。村としては経済効果のシミュレーションはしていないが、災害時における広域連絡道路、有益な観光ルートとして重要であり、要望活動は継続し、村民へ重要性の啓発をしていく。

子育てに関わる

経済的支援について

**答** 当面、受給者負担金ゼロ円は困難で負担金五百円をお願いする

**問** 本村での、18歳までの医療費負担をゼロにできないのか？他市町村でもゼロ円実施をしているところがあり、少子化の今、本村でも子育て支援のアピールにもなる。

**村民生活課長**

受給者負担金制度は、県と市町村が協議した制度であり、総合的な医療給付制度として今後も現行どおりでお願いしたい。

**問** 八木沢川は護岸の未整備

八木沢川護岸整備等の治山治水対策について

**問** 八木沢川は護岸の未整備

八木沢川は護岸の未整備

八木沢川は護岸の未整備

八木沢川は護岸の未整備

梨本 進 議員



コロナ禍の影響と平常回復活性化策について

**答** 広い業種にきめ細かな事業に取り組みます

**問** ①コロナ禍の経済や困窮世帯、子育て世帯の影響と対策は。②教育の機会減少など学校教育の状況は。③経済と生活の平常回復の為に、自粛解除の発信をすべきでは。

**村長**

コロナ禍により落ち込んだ経済対策として、村独自の子育て世帯応援給付金や事業継続支援事業、クーポン券の発行などの支援対策を講じてきた。しかし、村内事業者の売上は、旅館や飲食店をはじめ、商業から工業まで広く減収となり、経営健全化支援資金や生活支援金貸付制度を利用して頂いています。学校教育では、臨時休業で遅れた学習内容を精査し、コロナ感染症の予防対策を講じながら教育活動の維持に努める。合せて、近隣地域と連携し、経済活動の活性化に向け、きめ細かな事業に取り組んで参りたい。

**村長**

八木沢川護岸整備と急傾斜地崩壊対策について、須坂建設事務所と会議を開催し、県議会危機管理建設委員会に要望しているが、護岸整備の早期着手は困難との回答。しかし、鞍掛山は崩壊箇所があるので、村としては治山事業の導入を県と協議して参りたい。



八木沢護岸。

**答** 避難所の環境改善について 啓発強化に努めて参りたい

**問** 身近な公会堂は安心な避難所になるのでは。また公会堂に防災資材の整備や食料品備蓄の支援はできないか。

**総務課長**

村内に指定避難所は15箇所あり、2箇所の公会堂以外の地区公会堂等の避難所の指定については、関係者と検討して参りたい。また、自主防災組織の皆様から意見を伺い、総合的に検討して参りたい。

柴田 弘男 議員



屋内ゲートボール場施設の修繕について

**答** 床面の部分的な補修と不具合の天窓を修理し、換気等の改善を図ります

**問** YOU遊ランドの多目的ホール（屋内運動場）

平成5年にオープンし、平成24年に改修したが、夏は暑く換気が悪く、床面は凸凹しているためゲートボール場には不具合である。

① 放送設備の設置はできないか。

② 天然芝のゲートボールのコートはできないか。

③ 天井への扇風機等の設置はできないか。

**村民生活課長**

森林スポーツ公園内にある現在の多目的ホールは、平成5年に温泉プール棟と合わせて屋内運動場として建設されました。

平成25年からは、ゲートボールのみならず、イベントや少年サッカーなど多目的に利用して頂いています。

① 放送設備の設置ですが、小型アンプは大変性能が優れているため、使用頻度や必要性、費用対効果など調査研究したい。



多目的ホールは、イベントやスポーツが出来る屋内運動場です。

② 床面の凸凹は部分的補修により修繕しますが、天然芝への張り替えは維持管理や費用面から、実施は困難であると考えます。

③ 屋根裏に断熱材がないために、夏場は屋根の熱が室内にこもり室内温度が上昇する状況にあります。

次年度に、不具合の天窓を修理し、換気等改善を図りたい。

山崎 秀治 議員



子育て支援の充実を

学校給食費の完全無償化を

**問** 学校給食費に一食140円の補助をしていますが、一刻も早い完全無償化を求めます。

**村長**

給食費の一食当たりの平均は280円で、半額の140円補助が妥当と判断しています。

子どもの均等割りは廃止に

**問** 国保の子どもにも賦課されている均等割りは、「まるで人头税」などの批判があります。子どもの均等割りを廃止してください。

**村長**

子どもの均等割り廃止は、全国町村会などで再三国に要望しています。一般会計での補助制度創設による実質廃止は、近隣市町村の動向を見ながら検討します。

村児童クラブでも4年生以降も受け入れを

**問** 公立の学童クラブでも、4年生以降も受け入れてほしいとの要望にどう応えられますか。

**村長**

4年生以降も受け入れてほしいとの声があることは承知しています。現時点で、4年生以降の受け入れ変更は難しい。

特別障害者手当制度を広く周知されたい

**問** 重い障害があり、介護が必要な人に月額27,350円支給される特別障がい者手当があります。要介護4・5の人は受け取れる可能性があります。広く周知することが必要ではありませんか。

**村民生活課長**

要介護4・5の方が、必ずしも対象とはなりません。様々な機会に情報提供を行うなど周知していきます。

「福祉灯油」の実施を

**問** ガソリン・灯油が高騰し、生活に影響を与えています。「福祉灯油」の実現や、学校・福祉施設の燃料費確保を求めます。

**村長**

「福祉灯油」350世帯に、1世帯1万円を、学校などの燃料費確保も補正予算で対応します。

### 久保田 雄吉 議員



記録的な凍霜害の被害対策ができないか

**答** 今のところ考えていない

**問** 4月に県内農産物に記録的な凍霜害があったが、本村の被害の状況はどうか。

りんごは、褐斑病による品質低下も深刻である。被害対策ができないか。

**産業振興課長**

本村の被害状況は4～5月の調査でりんご等が149万9千円と算定されており、JAの速報値では中生種の秋映を中心に収量が減少しており、ふじでは2割程度の減収になると聞いております。

一方、販売価格が高値取引されており、現在、皆様からの相談はなく、今のところ支援策は考えておりませんが、自然災害に備えて果樹共済保険制度を有効に活用していただきたいと考えております。

高山共選所の直売所を  
通年営業に出来ないか

**答** 慎重に検討したい

**問** 本村の美味しいりんごやぶどうが県外客に知られ、高

山共選所の大盛況は大変喜ばしい。

ただ『ある日突然、店じまい』となるのが残念。これでは知らずに来たお客様が困る。

JAの事情もあるかと思うが、村も販売経費補助などを行い、JAとの話し合いで通年営業に移行出来ないか。

**産業振興課長**

通年営業には品揃えを豊富にして集客体制を整え、経営も成り立つ必要があり、さらに豪雪地帯である本村で通年営業するには施設改修や販売農産物を確保する必要があります。

今後、関係する皆さんの意向を確認し、高山共選所の存続と合わせて通年営業に対する課題等を整理する中で慎重に検討して参りたい。



コロナ前の高山共選所のにぎわい。(写真：岡田寛さん)

### 松本 茂 議員



地域おこし協力隊の採用状況とその成果は

**答** 3名の採用で本村の魅力の発信や、知名度向上等に大きく寄与いただいています

**問** 地域おこし協力隊は都市住民を受け入れ委嘱し、地域活動に従事してもらい

ながらその地域への定住・定着を図る取り組みに「国として必要な支援を行う制度」としているが村では、これまでにどのような事業に何人採用されているのか、成果並び効果は出ているのでしょうか。

**総務課長**

平成26年4月東京都から移住され、観光情報の発信や振興に関する業務に携われ、任期終了後も村内に定住され、基幹産業である農業に従事されています。

令和2年4月採用の羽太先生には産業振興課に於いてパンフレットやデザイン・制作を担当して頂きました。

同じく、西川さんには、観光協会に勤務して頂き村のイベント情報の発信PRに関する業務を行っていただきました。高山村観光協会の情報が伝わりやすいホームページの制作に携わって頂いた所です。

3名はそれぞれの才能と技術力で、本村の魅力発信・知名度向上等に、大きく貢献い

ただいています。

**問** 地域おこし協力隊員の今後の採用計画や予定についてご答弁頂きたい。

**総務課長**

村の抱えている問題の分析や解決に向けた課題整理を行う中で採用に当たっては前向きに検討して参りたいと考えています。

**村長**

他市町村の動きに捉われない高山村独自の「地域おこし協力隊」募集要項に従い行います。空き家住宅の利用も踏まえ定住支援策を提示いたします。



東京都より地域おこし協力隊に採用された西川さん(スパ・ワイン観光協会にて)



女子美術大学を退職され、地域おこし協力隊で活動いただいている羽太氏(小学校バス停にて)

沖島 祥介 議員



にぎわいの場創設事業にあげている  
中山地区について

**答** 行政指導というよりは民間活力を  
最大限活かす形で進めて欲しい

センター山田を

**問** ①ふるさと

中心とした中山地区の進捗状  
況は。②旧山田共選所跡地の  
取得について。③地元住民と  
の合意形成はどのようにもっ  
けているか。

**村長**

①現在は様々な提案を出し  
合っている状況です。  
②議会、住民の理解を得た上  
で財源の確保を検討します。  
③中心となる方を決め幅広い  
層の意見、要望を聞き計画を  
立てる事が重要。



JA旧山田共選所。

ふるさと納税について  
自主財源の確保からも  
重要な事業であるが取  
り組みについて

**答** 魅力ある返礼品を増  
やし高山村の魅力発信と  
自主財源の確保に務める

**問**

①返礼品の品揃えについ  
て。②寄付金の使途があいま  
いで解りづらいため雷滝、五大  
桜、高井橋、温泉、牧場など具  
体的にはどうか。③寄付額や  
リピーターを増やす努力は。

**総務課長**

①魅力ある商品を生産者、商  
工会を通じて拡げていく。  
②寄付金を使用した事業内容  
の公表なども考えていきたい。  
③サイトも増やし返礼品の品  
揃えを充実しながら本村の魅  
力を発信しファンを拡げてい  
く。

滝澤 聖 議員



特定空き家対策の進捗状況について

**答** 直接自宅に伺い、話す機会を設けたい

**問** 全国的に空  
き家問題が深刻  
化していること  
を受け平成27年

5月に施工された「空き家対  
の推進に関する特別措置法」  
では自治体が所有者に対し適  
正に管理する指導、所有者に  
は管理をする責任があり、老  
朽化した倒壊の危険がある空  
き家は取り壊すのも管理の一  
つとされています。牧地区に  
は特定空き家に該当する物件  
が一棟あり解決に向かってい  
るのが答弁を求めます。又他  
地区からは類似の相談はない  
か伺います。

**建設水道課長**

村では早めに空き家状況を  
確認し、適切な管理が行われ  
てないと思われる空き家等に  
ついては、周囲の生活環境に  
悪影響を及ぼさない様、連絡  
先が判明した時点で所有者等  
に空き家の状況等をお知らせ  
するとともに、早期の改善策  
を講じていただくようお願い  
しています。

牧地区の特定空き家所有者



石の擁壁が崩れ倒壊の危険がある空き家。

には、空き家対策住民啓発講  
座の資料と合わせて適正な管  
理をお願いする依頼文の他、  
周囲の写真を送付し、電話で  
の指導を行っているが一向に  
改善するに至っていない。県  
外におられる所有者を直接自  
宅に伺い、話をする機会を設  
けたい。又、他地区からの相  
談はありません。しかしなが  
ら、今後は増えるものと思わ  
れるので啓発活動を継続しま  
す。

黒岩 清道 議員



防災の備蓄品と避難所運営について

**答** 災害に強い村づくりに努めて参ります

**問** 近年の異常気象や地震、そしてコロナ禍の中、避難所運営が重要です。

そこで①備蓄品の量や種類は、②備品はスムーズに設置する講習を行っているのか。③災害時には若い力も必要と思われませんが。

総務課長

現在、村にある備蓄品類は、飲料水が約8千本、食品類は約7千食、寝具類や簡易ベッドなどを保存しております。村内の土砂災害警戒区域の全員避難の最低限の備蓄ですが、有事の際の不足に対しては関係機関と連携をしております。また、避難所の設営などは、まず職員が中心になつて設置する訓練は重要ですが、自主防災会や中学生を含めた村民が率先して講習できる環境づくりに努めます。



小学校正門横の防災倉庫。

高山村の観光誘致について

**答** 各種補助金などを有効活用し誘客に取り組みます

**問** 村の観光業は、2年も続くコロナ禍で厳しい状況です。安全な高山村への誘客のために、もっと支援金を活用して、例えばパンフを雑誌に折込むなどの宣伝が必要では。

産業振興課長

村の基幹産業であります観光業は、2年以上にわたり厳しい状況です。事業継続給付金やクーポン券事業など施策を講じてきました。また補正予算で観光客誘致支援事業補助金を計上して支援を行うこととしています。また本年度観光パンフレットの全面リニューアルを進めておりますし、観光協会のホームページも新しくなり、様々な情報発信を今後とも展開してまいります。

議会活性化特別委員会

モニター会議の報告

第18期議会の議員構成の報告をいたしました。その中で、議会活性化特別委員会の委員長に柴田弘男委員、副委員長には、高井央葉委員が選任されました。宜しくお願いいたします。

意見交換会について

議員と村民との距離を近くにしてほしい

モニター会議のメンバーは、まだ任期があるため引き続き9名の方をお願いしております。11月11日の、モニター会議の報告をいたします。

モニターだけの意見交換会、ぜひくばらんに話せたら良い  
モニターだけの意見交換会をしたのと意見が多い為、開催していただきます。

「9月定例会」を傍聴して

質問しても答弁が「検討します」では進歩がない  
議会と村民のベクトルは整合性が取れているか  
議員がどう研究して質問するか見に来ている。村民は期待している。

たくさん意見や要望が出ました。が抜粋しました。

議会は、モニターと力を合わせてより良い議会になるよう努めます。

(柴田弘男)

# 中川村議会議員と 行政視察研修会

10月26日、役場3階にて行政視察懇談会を行いました。

中川村議会から5名の議会報編集委員の皆さん、高山村議会からは4名でお迎えして、議会報と議会モニターについて意見交換を行いました。

中川村はブッポークウ野鳥の生息地で有名です。本村と同じく「日本で最も美しい村」連合に加盟されています。令和3年の人口は4765人（外国人が60人）、村議会議員は10名の議員の方が活動されています。また議会モニターは、村民から20名募集をして、議会報についての意見や感想を毎回の定例会後に提

出していたいただいているそうです。議会報の内容については、村民に見て読んでいただくためにはどのように構成するかと議会モニターについては、モニターの人数や、議場への傍聴やテレビ放映についての感想や議会報を見ての意見などが提出されているそうです。

両議会は、村民の皆様にはどのような仕事をしているかを知ってもらいたい、議会報を読んでいたきたい、とまとまりました。2時間余りでしたが、大変良い懇談会となりました。

(柴田弘男)



中川村議会の議会報編集委員の皆さんと本村の議員は意見交換を行いました。

# 議長就任の挨拶

西原 澄夫

10月1日に行われた10月臨時会において、議員各位のご推挙を受け、議長に就任いたしました。微力ではございますが、村の発展、住民福祉等の向上ため、努力してまいりますので、宜しくお願い致します。

前回、前々回の村議会議員選挙は、定員に1名足らず、無投票選挙となつてしまいました。この事を重く受け止めた本村議会は、2017年12月定例会において、「議会活性化特別委員会」（議員のなり手不足を解消する為の委員会）を設置しました。その後、初めて行われた今回の選挙。議会活性化の働きが功を奏したのが、定員より3人多い15人が立候補し選挙戦となりました。

選挙後、初めて行われた12月定例会での一般質問は、近年では例のない2日間にわたり11名の議員の皆さんが、24件の質問、提言をされました。

地方自治体の長と議会の議員は、それぞれ住民の直接選挙で選出する二元代表制をとっており、独立、対等な関係に立ち、お互いに緊張関係を保ちながら協力して自治体を運営していく責任があります。

いま全国的に、町村議会議員に立候補される住民が少なくなつている中で、今回の選挙で当選された議員の皆さんは、住民の代表として、色々な立場、多種多様な意見、考えをお持ちの方々です。議会の長として、議員間での、活発な議論を重ね、議会として積極的に自分たちの村づくりに係わって参りたいと考えております。村民の皆様の尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が、村民の皆さんにとって、より幸福な1年になることをご祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。



# 議 会 構 成

## 議会運営委員会

**長** 山崎 秀治    **副** 梨本 進  
滝澤 聖、沖島 祥介、柴田 弘男

**議 長** 西原 澄夫

**副議長** 柴田 弘男

## 総務文教常任委員会

**長** 黒岩 清道    **副** 沖島 祥介  
久保田雄吉、梨本 進、湯本 辰雄

### 議会運営委員会

- 1 議会の運営に関する事
- 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 3 議長の諮問に関する事項について
  - ①調査をおこなうこと
  - ②議案、陳情等の審査を行うこと

## 民生産建常任委員会

**長** 高井 央葉    **副** 滝澤 聖  
勝山 正弘、松本 茂、山崎 秀治、柴田 弘男

### 総務文教常任委員会

総務課、会計室、選挙管理委員会、監査委員、教育委員会、人権推進室、議会事務局に関する事項  
他の常任委員会に属さない事項

## 議会報編集特別委員会

**長** 黒岩 清道    **副** 久保田雄吉  
滝澤 聖、沖島 祥介、松本 茂、柴田 弘男

## 松川等酸性水対策特別委員会

**長** 松本 茂    **副** 勝山 正弘    他全員

### 民生産建常任委員会

村民生活課、産業振興課、農業委員会、建設水道課に関する事項

## 雁田山採石調査特別委員会

**長** 湯本 辰雄    **副** 沖島 祥介    他全員

## 高山村議会活性化特別委員会

**長** 柴田 弘男    **副** 高井 央葉  
山崎 秀治、黒岩 清道

# 会の報告

議会報は議員の編集で発行しておりますが、昨年9月の定例会直後に村議会議員選挙があり、議会報の発行を休みました。今号では、12月定例会の報告とともに、9月定例会の一般質問をダイジェストで報告いたします。

## 令和3年第3回高山村議会

### 9月定例会

令和3年9月定例会は、8月26日から9月10日までの16日間の日程で開催されました。決算審査特別委員会を設置し、令和2年度決算の審査を付託され、審査の結果、賛成多数で可決されました。

ほか、村から提出された案件は、補正予算案6件、同意議案1件は原案通り可決されました。一般質問は4名が登壇し、村政の課題など5つの事項について質問しました。

湯本 辰雄 議員

### 県道に横断歩道設置を

**答** 設置は困難です

**問** ニツ石の小学校PTAから、「朝の交通の激しい県道を横切らなければ通学出来ない」、黒岩燃料店の東側に横断歩道設置」の要望がありました。

**建設水道課長**

横断歩道の設置は県公安委員会が行う。設置基準で「現在設置されているところから200メートル以上離れている」と規定されている。交通量等も勘案すると、設置は困難」との回答です。今後も村としては、通学路の安全確保に努めていきます。

西條 正純 議員

### 村民の生活を支えるデジタルトランスフォーメーション戦略について

**答** デジタル化に向けた取組の推進を図っていく

**問** ①村小中学校のタブレット端末やWi-Fi環境の整備状況は。②ICT支援員や活用教育アドバイザーはいるか。③地元商店でキャッシュレス対応にしている割合は。④キャッシュレスを拡充するための施策は。⑤県のドローンを活用した森林管理と林業経営の最適化と効率化は高山村と関連はあるか。⑥ドローン運用の確立を。

**総務課長**

①昨年2月に小中学校にタブレット端末を導入し、校内高速通信ネットワーク整備工事を実施、Wi-Fi環境の整備を行った。②本年度からICT支援員1名を小中学校に週2日程度配置している。③飲食店は12店舗中7店舗、小売店は16店舗中3店舗がキャッシュレス対応している。④商工会や観光協会など関係団体等の御意見をお聞きして今後の推進策について検討してまいりたい。⑤本村では事業が実施された実績はないが、県の動向を注視してまいりたい。⑥活用方法や費用対効果等も含め、十分検討してまいりたい。

# 9月定例

高井 央葉 議員

## 村内小中学校への生理用品設置について

**答** 必要性や課題について検討して参りたい

**問** 6月定例会後、全国的に、試験運用も含めた実施が増えてきたが、再度、村としての対応は。

**教育長**

衛生的に適当ではなく、管理面からも課題が多いため、これまでどおり養護教諭の管理の下で保健室に配置し、対応してまいりたい。今後は、学校の実態や要望を把握するとともに、他の自治体の動向等を参考にしながら、必要性や課題について検討して参りたい。

**移住定住につながる子育て支援について**

**答** 安全に安心して暮らせる村を目指して、子育て施策の充実と図ってまいりたい

**問** 赤ちゃんから高校生と長い目で見て、高山村なら安心して子育てができる、したいと思ってもらえる支援策は。

**村長**

これまでの施策に加え、先進自治体や近隣自治体の事例を調査・研究するなどして、移住された皆さんと交流、話せる場を創出するなど、不安の払拭に向けた取組を推進してまいりたい。

西原 澄夫 議員

## 人命や農作物等を害獣から守るための電気柵について

**答** 関係団体との連携を図りながら適正な維持管理に努める

**問** 恒久電気柵、簡易電気柵は維持管理されている皆さんだけでなく、多くの村民が恩恵を受けている公共施設という考えを持ち、今後の維持管理費について、また新たな電気柵の設置について、村の考えは。

**村長**

電気柵は、村民の皆さんが日々安心して生活する上でも重要な役割も持つ公共施設の一つであると考えている。その上で、維持管理については各地区の諸事情等を十分勘案し、新年度に向けて前向きに検討してまいりたい。また、新たな恒久電気柵の設置については、2地区から要望が出されており、現在、事業の採択基準や財源確保などについて検討している段階であり、今後、有利な事業のめどが立てば、関係者を集め、より具体的な検討ができるものと考えている。



☆ 黒部の桜に見守られて  
ー美しい里山で育まれた  
ワインと人のつながり ☆



ニツ石区  
倉田 裕子 ひろこ



●出身は  
生まれは兵庫県です。高山村に移住する前は長らく東京に住んでいました。

●高山村を知ったきっかけ  
昔からワインが好きでしたので、高品質なワインぶどうの産地として有名な高山村のことはずっと前から自然と耳にしていました。当時は、高山村に移住することになるとは思ってもいませんでした。

●移住のポイントや出来事  
夫婦とも会社勤めをして

いましたが、主人がワイン造りを志し醸造研修をすることとなりました。役場や地主の方々のおかげで黒部地区に畑を借りることができたのがきっかけです。ただ、すぐに移住を決めたわけではありませんでした。移住が具体化したのは、実際に栽培をやりながら黒部地区の先輩ワイナリーで研修させていただくという貴重な経験を通じて、ワイン造りの夢が夢ではないかもしれないと思えるようになったからです。

●移住に際しての不安は

車が無いと生活が成り立たないと聞いていたので必死で運転の練習をしました(笑)。今は運転にも慣れて問題ないですが、実際に車依存の生活ですので、高齢になった時の移動については不安を感じています。ただ、多くの地方の自治体が自動運転の実用化に向けて取り組んでいることにはとても期待しています。

●お仕事・今後の目標は

主人と一緒に黒部地区でワイナリーを営んでいます。6年前に植樹を始め、現在は2ヘクタール弱の畑で栽培しています。弊社は赤ワインのみです。少し時間をかけて、昨年末ようやく初醸造のワインを発売しました。県外から移住した新参者



編集後記

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染予防も3年目に入りましたが、まだまだ先が見えない状況です。その中で影響をうけているのが観光業や飲食業ですが、子ども達もふれあいが育む時期に、ふれあいが出来ない心の影響も心配です。多くの

の私たちがここまでこぎつけたのは温かく見守ってくださった地域の方々、村役場その他関係各位のおかげだと思っ、日々、感謝しています。小さなワイナリーですが、この素晴らしい高山村をもっと広く知ってもらうために、微力ながら少しでも恩返ししていければと思います。



人の支えが必要と思われる。議会も昨年の秋の議員選挙では15人の立候補があり12年ぶりの選挙戦になりました。新しい風が吹く高山村になってほしいです。(黒石清道)

発行責任者	議長 西原 澄夫
議会報編集特別委員会	委員長 黒岩 清道
	副委員長 久保田雄吉
	委員 柴田 弘男
	委員 松本 茂
	委員 沖島 祥介
	委員 滝澤 聖

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会  
編集 / 議会報編集特別委員会  
TEL (026) 245-1100  
印刷 / 株式会社